

栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画(案)
に対する意見募集結果について

市では、栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画の策定にかかる、パブリックコメントを実施しました。その結果ならびにいただいた意見の概要とそれに対する市の考え方をお知らせします。

【意見募集の概要】

- 1 案件名 栗東市立学校給食共同調理場建設基本構想・基本計画(案)
- 2 意見提出期間 平成27年5月19日(火)～6月18日(木)
- 3 意見募集の周知 広報りっとう、市ホームページ等
- 4 閲覧場所 市ホームページ、教育総務課窓口、市役所1階情報公開コーナー、各コミュニティセンター
- 5 意見の提出方法 郵送、持参、ファックス、電子メール

【意見募集の結果】

- 1 意見の件数等 2件(1人) 郵送
- 2 意見の概要と市の考え方、対応は以下のとおりです。

意見番号	項目	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応
1	基本構想・基本計画(案) 29ページ 基本方針6 循環型社会の実現や省エネルギー化に取り組む施設のなかで、省エネ機器の導入等を検討について	省エネやCO2の削減に取り組むことは大変評価できますが、コストの観点で取り組む姿勢がこの案の中では窺えません。共同調理場は、建設後に市が何十年も運営していく施設であり、財政が危機的な状況の中、初期の費用だけでなく、ライフサイクルコストの低減に向けた施設形成・運営方法の導入を積極的に計画の中に盛り込み、市民の不安を少しでも解消するべきであると考えますがいかがでしょうか。	ライフサイクルコストの低減に向けた取組みはご意見の通り必須と考えています。この内容については基本構想の30頁「基本方針9 効率化による運営コストの削減」の中で施設方式、運営方式による効率的な運営等でのコスト削減に取り組むとしており、この方針を基に計画書58頁4 概算事業費の試算ではライフサイクルコストの見込額を掲げています。なお、この低減に向けては今後の基本設計や実施設計の中で検討するとともに、民間事業者に委託する場合は民間事業者からも積極的にコスト低減の提案を受ける予定としております。	計画案の修正はしない。

意見 番号	項 目	意 見 の 概 要	意見に対する市の考え方	対 応
2	基本構想・基本計画(案) 50 ページ ⑥地域防災機能の中の「炊き出しに対応するための導入設備の比較【参考】」について	<p>「電気・ガスのいずれかの供給が可能であれば調理は可能。」とありますが、換気扇が動かない場合や照明が点かない場合、室内での調理は安全上の観点から避けるべきです。(ガス会社のホームページでも記載されています)。この点を踏まえると、地域防災機能を考える上で、自家発電の導入か、移動式の災害用調理機器による屋外での炊き出しのどちらかになると考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>災害時等の際の機能としましては、自家発電については導入コストが高く、維持管理費も必要となるため「移動式の災害用煮焚釜」の導入を掲げています。(文頭の四角枠内に記載済)</p> <p>またご意見は比較表内に対するものですが、電気釜とガス釜の併用の場合におけるデメリットの記述を修正いたします。</p>	<p>計画案を修正する。 (修正前) 電気・ガスの両方が供給停止した場合や、調理室が損傷した場合、調理は不可能。 (修正後) 電気・ガスの両方が供給停止した場合や、調理室の調理機器や換気扇、照明等が損傷した場合、調理は不可能。</p>